

あわみなと通信

暮らしを支える港湾と空港の話

2017年 年頭の挨拶



新年明けましておめでとうございます。

年初の「あわみなと通信」発行にあたり、一言御挨拶申し上げます。

皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素より当事務所の運営にご理解・ご協力賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、4月14日から16日にかけて熊本地震が発生しました。また、8月下旬ごろから9月にかけての台風シーズンには、台風10号が観測史上初となる、Uターンをして東北地方から上陸するといったコースをとり、日本列島各地で多数の犠牲者・甚大な被害が出ました。四国地方整備局からもTEC-FORCEを出動させ、支援活動に参加いたしました。つくづく、我が国は災害大国であることを実感させられた年となりました。

今後発生が危惧されている南海トラフを震源とする地震についても、熊本地震発生以降、南海トラフの西端に位置する日向灘沖から徐々に東に向かってプレート上にひずみが広がっていていることが観測されつつあります。

そのような中、当事務所の運営において、三つの重点課題に取り組んでおります。一つ目の課題は、上述いたしました南海トラフ地震を初めとする災害から国民の安心・安全を確保する防災対策であります。撫養港海岸（鳴門市）では、平成18年度より進めて参りました既設堤防の改良事業が、本年全区間完成に向けラストスパートに入ったところです。二つ目の課題は、今後急速に増加していく設計寿命を向かえるインフラ施設をどうして行くかという課題です。徳島小松島港の主要港湾施設は昭和40年代に整備されたものが多くあり、施設の老朽化が目立つようになっております。平成28年度より、特に老朽化が顕著であった金磯ふ頭において、リニューアル工事に着手したところであります。三つ目の課題は、地域振興です。これまで長年にわたり行ってきました、様々なイベントでのみなど見学会では大勢の方々に乗船して頂き、楽しんでいただきました。今後もこのような活動を継続して実施し、地元のにぎわい創出に携わる事ができたらと考えております。

最後に、本年も当事務所の運営にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新年が関係機関の皆様やみなど通信の会員の皆様にとって輝ける良き年となりますようご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

小松島港湾・空港整備事務所長 佐野 正佳

INDEX▶

- 年頭の挨拶・・・ 1
- みなどインフォメーション
港湾業務艇「ひのみね」みなど見学会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- なるほどみなど講座
老朽化した栈橋式岸壁のリニューアル工事の開始・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- みなど通信
徳島小松島港沖洲(外)地区にクルーズ船が初入港、みなどオアシス防災訓練の開催・・・・・・ 4

港湾業務艇「ひのみね」みなと見学会の開催

●和田島ちりめん市

10月16日（日）に、小松島市の和田島漁港で、今年で第5回目となる和田島漁業協同組合主催の和田島ちりめん市が開催されました。小松島の名産であるシラスを使ったかまあげ井やとれたての鮮魚の販売、またちりめんすまし汁が無料で振舞われるなどし、朝早くから大勢の人でにぎわいました。当事務所からは後援行事として、みなと見学会を行いました。合計2便でしたが、定員数がわずか5分で満員になり、多くの家族連れの方に、徳島小松島港の風景を楽しんでいただきました。



●うまいもん祭り&海鮮朝市

11月26日（土）に、小松島みなとオアシス交流広場周辺で小松島市、こまつしまブランド戦略推進協議会主催の第12回うまいもん祭り&みなと海鮮朝市が開催されました。

小松島の名産であるシラスや鱧を使った食品、獲れたての新鮮な魚介類や農産物の販売が行われたほか、ステージ上ではコンサートやダンスショーが行われました。当事務所からは後援行事として、みなと見学会を実施いたしました。午前・午後それぞれ2便ずつの合計4便を運航を致しましたが、どの便も満席になりました。またこの日は、大型帆船「海王丸」が補給のために小松島港に初寄港しており、非常に珍しい船に乗客の方々も目を奪われていました。



こまぼんのなるほど！ みなと講座

～港湾・空港のことをもっと知っていただくために～



ぼくの名前は「こまぼん」。小松島港湾・空港整備事務所のマスコットキャラクターだよ。タヌキの耳としっぽが目印。一般公募によって名前がつけられたんだ。

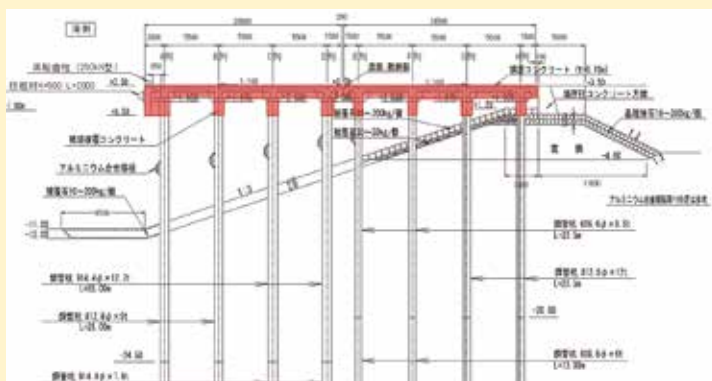
—第37回— 老朽化した棧橋式岸壁のリニューアル工事の開始

徳島小松島港の主要な港湾施設は、昭和40年代に整備されて以来、まもなく設計寿命の50年を迎える状況にあり、近年老朽化が顕著に見受けられるようになってきました。

そこで、小松島港湾・空港整備事務所では、老朽化が進行していた金磯ふ頭において、平成28年度より棧橋のリニューアル工事に着手いたしました。

12月の時点で、舗装コンクリートを撤去し、床版コンクリートをワイヤーソーと呼ばれるコンクリートを切断するためののこぎりで切断している状況であり、撤去後、新たにコンクリートを打設し、リニューアル完了致します。

金磯ふ頭位置図・断面図



金磯ふ頭老朽化調査状況



(a) 床版コンクリート(裏面)



(b) 梁コンクリート



(c) 防舷材

金磯ふ頭工事進捗状況



(a) 舗装版撤去状況(11月)



(b) ワイヤーソー(12月)



(b) 床版撤去(12月)

ご報告 徳島小松島港沖洲(外)地区にクルーズ船が初入港

10月9日(日)に、徳島小松島港沖洲地区の耐震強化岸壁に豪華客船ロストラルが初入港しました。ロストラルはフランスのポナン社が所有する船(総トン数10,944t、全長142.1m、幅18m、乗客定員264名)で、食通の船と言われるほどグルメに特徴があり、濃いグレーとホワイトのツートンカラーの船体は、小型船ではありますが、船内はモダンで豪華なプライベート空間を満喫できる船であります。

沖洲地区にクルーズ船が接岸するのは今回が初めてで、今年9月に就航したばかりのオーシャン東九フェリーの「りつりん」とロストラルが隣り合って接岸するというたいへん珍しい光景を見ることができました。



ご報告 みなとオアシス防災訓練の開催

12月3日(土)に、小松島みなとオアシス(みなと交流センター kocolo)にて、防災訓練を開催いたしました。訓練には地域の方々や地元の高校生など約40名の参加がありました。

訓練では、まず、小松島市消防課から、AEDを使用した心肺蘇生訓練をしました。次に、徳島県とくしまゼロ作戦課から、南海トラフ巨大地震の概要説明、県のホームページで公開している「総合地図提供システム」や「すだちくんメール」といった防災システムの情報提供がありました。最後に、当事務所(四国地方防災エキスパート協力)から、東日本大震災時の津波被害の脅威について被災状況の映像を交えながら情報提供し、巨大地震津波の脅威と、それに対する備えの必要性を認識する良い機会となりました。



出前講座の申し込み受付中!

当事務所では、海と空の「みなと」のこと、また当事務所の仕事について、広く皆さんに知っていただくために、出前講座(みなと学習、環境学習、防災学習)を開講しています。

楽しく学べる当事務所の出前講座、現場見学会のご依頼を受け付けています。



出前講座、現場見学のお問い合わせは・・・

当事務所 TEL **(0885)-32-3357**

または ホームページ「暮らしを支える港湾と空港の話」
<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/komatsushima/>
よりお問い合わせください。